

岐阜大学 地域医療アカデミア連携強化パッケージ (G-ALPS)

Gifu univ – Academia for Local Professional Sustainability



① G-ALPS 政策共創プラットフォーム

知事・学長等が参加する共創して地域医療の将来像を描くプラットフォームを設置。地域医療構想の推進、人材確保、役割分担・連携、等を共創→既存会議体への提案と、県×大学で描く地域医療の将来像を地域のステークホルダーへと繋ぐ機能を担う。



大学病院の教育・研究基盤を梃子に、地域の医療ニーズに即した優先課題を踏まえ、政策・医師育成・看護力底上げを三位一体で推進することにより、「大学が県全体の人材育成のハブとなり、教育の力で地域医療を強くする」という理念を確立し、県全体の教育フィールド化を図る。



② 岐阜県地域医療総合教育支援事業

医師派遣を“診療支援”から“教育・育成”へと再定義。病院長直轄の地域医療総合教育支援センターを設置し、医局横断の一元管理、偏在指標に基づく最適配置、大学⇄地域の人的循環・交流型ローテーションを常態化を目指す。本事業の教育・技能育成等の実装拠点として「メディカルデバイスセンター」を院内に整備。



③ 看護師生涯学習支援センター

既存の研修資源を開放し、院外看護師がアクセス可能な学習プラットフォームを整備。認定・専門看護師の出前研修を仕組み化し、地域の実践力と人材定着を高める。